

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権・道徳教育	①生徒支援部、専任及び外部との連携をした授業も視野に入れて、生徒の心情や実態に沿った授業内容を展開する。 ②道徳の授業はもちろん、各教科の別業を活かしたり、各教科内や学校生活全般の中で常に正しい判断力、行動力を養っていく。 ③学校行事や生徒会活動、学級活動の中での活動を通して生徒間同士の関係を深める。また、あきばルームとの連携を意識して学習活動を行う。
担当	学習推進部

豊かな心に関わる本校の状況
<p>・生徒たちは落ち着いた生活を送っており、人の気持ちを考えて行動することができるが、自分にはよいところがあるという自己肯定感や最後までやり遂げたという達成感はやや低い。</p> <p>・担任道徳、ローテーション道徳を通して、多くの職員から道徳的心情を学び、考えを深めることができた。</p> <p>・国際平和スピーチコンテストや人権作文の取組を通して、平和についての認識や人権についての意識を高めた。</p>

今年度の目標
全ての教育活動を通して人権教育や道徳教育の充実をはかり、誰もが安心して豊かに生活できる学校づくりに努め、体験活動や行事などを通して生徒が生き生きと自己肯定感を高めるようにする。昨年度の職員研修での学びを生かして、生徒が道徳的価値に自ら気づき、正しい判断力や行動を身につけられるようにする。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・担任道徳やローテーション道徳を通して、幅広い視点から道徳教育の充実をはかる。 ・国際平和スピーチコンテストや人権作文の取組を通して、平和についての意識や人権感覚の向上をはかる。 ・特別支援体制を時間割の中に組み込み、支援が必要な生徒が安心して取り組める指導体制をさらに充実させる。 ・学級課題の改善や生徒個人の課題を改善していくために校内研修会を実施し、生徒が気軽に相談できるように教育相談や学習相談日を設け、課題を改善する手助けをする。 ・体験活動を充実させるために地域の行事や清掃活動に積極的に参加し、生徒会を中心とした委員会活動や福祉体験、自然教室や修学旅行などの校外学習を通して他者との関わりや自己を見つめ、自己肯定感、自尊感情を高めていく。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな人権感覚・意識を育成するために生徒の現状をふまえた人権研修会を実施し、教師が人権感覚を研ぎ澄ますことにより、授業や行事への取組や日常での学校生活の中で生徒の人権感覚を高めていく。 ・優れた文化・芸術に触れたり、自らの文化的活動を通して、豊かな感性や情操を育むように伝統・文化に触れる学習や秋葉祭等の行事における文化的資質の向上を図る。 ・現在定着している朝読書や図書委員会が実施している「読み聞かせ」などのさらなる充実を図り、図書委員会や総合との時間の連携をしていく。